授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ				２０２１年度 英語科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	３	
授業内容	教科書のさまざまなテーマの英文を読み，そこに述べられている情報や考えなどを的確に理解し，適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。また，英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 「聞く」「読む」「書く」「対話」「発表」の５技能を有機的に関連付け,総合的に学習を行う。JET の授業での既習内容を ALT との言語活動を通じ,英語運用能力の向上に努める。 １）Listening 教材を使った聞く活動 ２）Retelling，Speaking を意識した表現活動 ３）Route Map，Summary を使った内容理解および語彙の定着 ４）その他にもタイムリーな教材を使用しながら，総合的な英語力を培う				
到達目標	「聞く」「読む」「書く」「対話」「発表」の５技能について学年末までに次のことができるようになることを目指す。 １）事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりすることができる。 ２）説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえることができる。また，聞き手に伝わるように音読することができる。 ３）聞いたり，読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をすることができる。 ４）身近な出来事や自分の考えを，簡単な英文で読み手に伝わるように書くことができる。				
評価方法	評価の観点（定期テスト６０％・平常点４０％） ・定期試験では教科書で履修した語(句)を用いてリスニングテストを実施する。 ・授業参加や発表の回数，グループワークのシート等の内容によって評価する。 ・週末・長期休暇などに課される課題などの提出物を評価する。 ・小テストや教科書の英文の Reading なども評価する。 以上の４点について定期テストや授業での確認テスト，課題提出，授業への取り組む姿勢などを総合的にみて評価する。				
使用教材	・Revised POLESTAR English Communication Ⅰ（教科書）【数研出版】 ・POLESTAR English Communication Ⅰ Work book【数研出版】 ・Data Base 3000 基本英単語・熟語 5th Edition（単語帳）【桐原書店】 ・Vision Quest 総合英語 Ultimate（文法参考書）【啓林館】 ・辞書				
その他	3 単位の内 1 単位は，ネイティブと日本人英語教師との Team Teaching である。 定期試験にはリスニング問題が課せられる。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	コミュニケーション英語Ⅰ	Lesson1	Washoku－Japanese Food Culture					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson2	Different Bottles, Different Names																																				
		Lesson3	The Adventures of Ishikawa Naoki																																				
		Lesson4	Bright Stars in a Dark Sky－Tekapo																																				
		Lesson5	The Story of Amazing Grace																																				
		Lesson6	The Dark Side of Diamonds																																				
		Lesson7	Ice Cream That Does Not Melt																																				
		Lesson8	The World of Haiku																																				
		Lesson9	Stephen's Story: A Story That Will Never End																																				
		Lesson10	Messages from a Trunk																																				
		Optional Lesson	How to Talk to Anyone, Anytime, Anywhere																																				

授業科目	英語表現Ⅰ				年度 英語科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	３	
授業内容	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 教科書の文法事項を学び，既習の文法・語彙を用いて自分の考えをまとめて，発表する英語運用能力をつける。 適時，辞書・参考書等も活用し展開する。 ・Model Conversation で文法項目の使用場面を把握する ・Build-up で表現するための文法を理解する ・Practice で自分が理解したことを output することで定着を図る 以上のことと平行して，Vision Quest 総合英語 Ultimate を使って文法事項の理解を深める。				
到達目標	言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに，論理的な思考力を養う。また，論理の展開や表現の方法を工夫し，自分の考えを伝える能力を養う。特に，英語を使った「表現」について学年末までに次のことができるようになることを目指す。 １）英語の語順を理解し，基本的な文を書いたり，発話することとができる。 ２）英単語の正しい強勢，文の正しい強勢，イントネーションを理解して，英文を音読することができる。 ３）スピーチや簡単な英文を書く(例えば自己紹介文など)にあたって，既習の文法を用いて，英語で自らの考えを発信できる。 ４）段落を意識した構成で，ある程度まとまった英文を書くことができる。				
評価方法	評価の観点（定期テスト６０％・平常点４０％） ・ALT によるスピーキングテスト ・授業参加や発表の回数 ・週末・長期休暇などに課される課題などの提出物を評価する。 ・小テスト 以上の４つを平常点として評価する。 ・定期試験では外部検定試験を意識させるために，80～100 語程度のライティング問題（20～30 点の配点）を出題する。				
使用教材	・English Expression Ⅰ Vision Quest (Advanced)（教科書） 【啓林館】 ・English Expression Ⅰ Advanced Work（ワークブック） 【啓林館】 ・Vision Quest 総合英語 Ultimate（参考書） 【啓林館】 ・Data Base 3000 基本英単語・熟語 5th Edition（単語帳） 【桐原書店】 ・辞書				
その他	3 単位の内 1 単位は，ネイティブと日本人英語教師との Team Teaching である。				

●授業進度表

			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	英語表現Ⅰ	Lesson1～Lesson2					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson3～Lesson5																																				
		Lesson6～Lesson8																																				
		Lesson9～Lesson11																																				
		Lesson12～Follow-up1～5																																				

授業科目	芸術　音楽Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	1 学年	探究（選択）	単位数	2	
授業内容	主に音楽理論の学習とバンド編成による楽曲の演奏活動を通して、音楽的感性を深め、演奏の基本手法を実習すると共に、主体的かつ創造的な芸術的表現を行う。 1 学期　音楽理論（楽典）と実習　視唱　基本奏法の練習 2 学期　基本奏法の練習と合奏・声楽パートの練習及び弾き歌い。発展的な音楽理論の学習 3 学期　発展的合奏表現と作曲 ただし、日本音楽史・西洋音楽史については年間を通して適宜行う。				
到達目標	○基本的楽典の理解。調性音楽の原理理解。借用和音と転調の理解。 ○メンバーの志向等を共有・共感しながら演奏課題曲の選定と担当楽器の設定を行う ○各楽器の基本奏法の理解と演奏。コード・ネームに関連した楽典の理解と連携。 ○各楽器に関連した機材等の効果および操作理解 ○個人練習・合奏練習のメニュー理解と稽古実施 ○声楽的観点による歌唱表現の工夫　○弾き歌いを中心にした楽曲の解釈と理解 ○音楽における様々な様式と歴史の理解および応用				
評価方法	［単位修得要件］　出席日数、授業参加練習態度、持ち物（楽譜など）、順番で行うレッスン等の評価、学期ごとの学科（筆記）試験、同学年末の演奏実演。以上を加味しながらこれらを「知識・技能」40％「主体性」30％「表現力・判断力・思考力」30％の観点別で評価を決定する。				
使用教材	教育芸術社　ＭＯＵＳＡ　Ⅰ　及び　各グループ毎の課題曲楽譜　　資料プリント等				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］　小・中学校で培われた音楽的演奏能力および音楽的知識一般。ただし楽器演奏の経験および能力は特に問わない。 ［注意事項］　この授業は主体的な音楽表現を試みる事を目的としている。そのため音楽理論の専門的な知識の理解や、初めて演奏する事になる楽器の演奏などについて、指定された課題を丁寧に練習していくことが求められる。これらの総体として音楽的表現の可能性を実体験し追求して欲しい。				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究 特進	音楽	楽典	音部記号 音名 音符と休符 小節と拍子とリズム 楽語					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			音階と調																																				
			楽式																																				
		機能和声の論理	音階から和音（コードネーム含む）																																				
			カデンツ																																				
			準固有和音																																				
			副五の和音・転調																																				
		ソルフェージュ	視唱																																				
		器楽演奏と弾き歌い	各楽器の基本奏法																																				
			発展的な奏法																																				
			合奏時の機材使用法と留意点																																				
			合奏練習																																				
			弾き歌い																																				
		表現とパフォーマンス	作曲																																				
			曲の表現プラン																																				
			舞台芸術としての観点とその理解																																				
		日本音楽史	古墳時代 奈良時代 平安時代																																				
			鎌倉時代 安土桃山時代 江戸時代																																				
			明治時代 昭和初期																																				
			現代																																				
			郷土の民謡と芸能																																				

授業科目	化学基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	教科書の内容を的確に理解し，日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高める。化学を学ぶ上で身につけるべき基本的素養のため，知見を広げ，既有知識と結び付けながら自分なりの意見を持ち，他者に伝えられるよう，「聞くこと」，「読むこと」，「話すこと」（やり取り・発表），「書くこと」の５領域を有機的に関連付け，総合的に学習を行う。 ① 教科書・資料集を用いた内容理解，情報収集能力の向上 ② 教科書の探究活動を使った課題解決能力，創造力，表現力の育成 ③ その他にも随時，副教材や資料等を使用しながら，化学を学ぶ上で身につけるべき基本的素養を涵養する				
到達目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解から科学的な見方や考え方の資質・能力を向上させ，自律した学修者を目指す。 【第１編　物質の構成】 原子の構造及び電子配置と周期律の関係，物質の性質については化学結合との関係を理解し、物質の種類や形，性質などの科学的な見方ができる。 【第２編　物質の変化】 物質量を学習した後、化学反応の量的関係，酸と塩基，酸化還元反応から化学反応に関する基本的な概念や法則を理解し，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できる。				
評価方法	【知識・技能】(40)…定期試験、小テスト 【思考力・判断力・表現力】(30)…定期試験、授業内活動 【主体的に学習に取り組む姿勢】(30)…授業内活動、振り返りシート等の提出物 から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書：化学基礎【東京書籍】 資料集：フォトサイエンス化学図録【数研出版】 問題集：ニューグローバル　化学基礎＋化学【東京書籍】				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	化学基礎	物質の構成	物質の探究					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			原子の構造と周期表																																				
			化学結合																																				
		物質の変化	物質量と化学反応式																																				
			酸と塩基																																				
			酸化還元反応																																				

授業科目	国語総合（現代文）				２０２１年度 国語科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	・　読解の基礎的な方法を理解する。（文の構造・文章の構成など日本語の規則や論理の基本、筆者の主張を把握する着眼点など）それを活用して優れた文章を多く読む。 ・　漢字・語彙など基本的な知識を習得し、それを活用する。 ・　評論の構成や展開を捉え、論旨を的確に把握し、要約する。 ・　小説に描かれた出来事・場面・登場人物の心情や関係性を読み取る。 ・　詩歌の形式やリズム・表現技法とその効果を理解して、描かれた世界観を味わう。 ・グループ学習・発表・質疑応答などの活動を取り入れ、人の意見を理解し、それに対する自分の意見を表現する。 ・　さまざまなテーマの文章や作品に興味関心を持てるように読書指導を行う。				
到達目標	・　基礎的な語彙力をつけて、自己の言語能力を高める。 ・　主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・　情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 ・　思考力を高め、自己の思いや考えを表現する力を身につける。 ・　ものの見方や考え方を深めるとともに、人と理解し合う態度を養う。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題・提出物・ノート・授業に対する態度などを通し、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性の観点から総合的に評価する。				
使用教材	教科書　国語総合　現代文編（東京書籍） 副教材　新総合　図説国語（東京書籍） 力をつける現代文１・２　五訂版（数研出版） セレクト漢字検定 5-2 級三訂版（桐原書店）				
その他	・自主的に意欲を持って取り組みましょう。 ・予習として、本文を読み、語句の読み・意味調べを行うこと。 ・漢字検定における目標級を設定して、その取得に努めましょう。 ・本や新聞など日常的に文章に触れて、自分で考える習慣をつけましょう。				

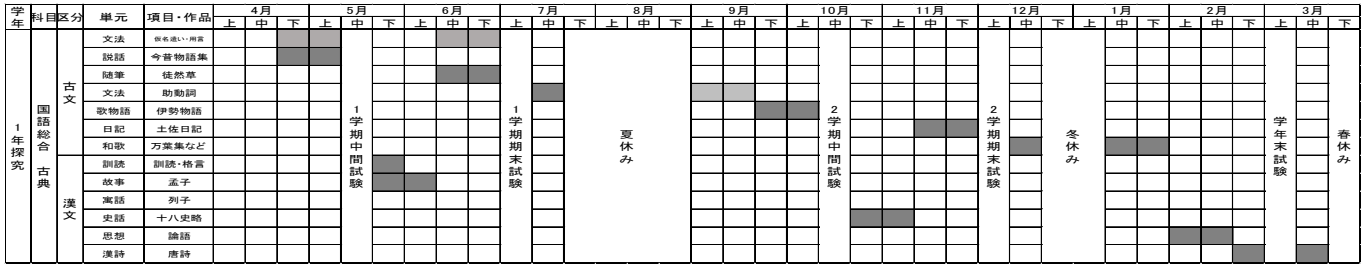
●授業進度表

学年・組	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	現代文	評論	技術が道徳を代行する時					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		評論	水の東西																																				
		小説	羅生門																																				
		評論	〈顔〉という現象																																				
		随想	少女たちの「ひろしま」																																				
		評論	言葉は「ものの名前」ではない																																				
		小説	城の崎にて																																				
		評論	広告の形而上学																																				
		評論	映像文化の変貌																																				
		評論	生物の多様性とは何か																																				
		小説	富嶽百景																																				

授業科目	国語総合（古典）				２０２１年度 国語科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	３	

授業内容	＜古文＞ ◎基本的な古語や文法（歴史的仮名遣い・用言・助動詞など）の知識を習得する。 ◎知識を活用し、現代語訳の仕方について理解する。 ◎文章を読解し、内容・要旨・心情などを理解する。 ◎作品に対する自分の意見を的確に表現し、生徒同士が伝え合い、共通点や相違点を考え、評価し合う。 ◎古典作品を自分なりの視点で読み、作品に描かれている情景・心情などを読み深める。 ・説話を読み、その面白さに触れて古文に親しむ。 ・歌物語の登場人物の心情と行動を読み取り、物語の中での和歌の役割を考える。 ・随筆を読み、そこに表現されている筆者のものの見方や考え方を理解する。 ・日記文学の特色を理解し、作者の思いを読み解く。 ・和歌の修辞を理解し、詠まれた状況や心情を想像し、和歌を鑑賞する。 ・各作品に関する文学史的な知識・時代背景・古文常識を理解し、鑑賞に活かす。 ＜漢文＞ ◎基礎知識（訓点、書き下し文、置き字、再読文字、句法など）の習得と読解能力の養成を行う。 ・漢文故事の面白さを知るとともに、そこに見える人間の考え方を理解する。 ・寓話を読解し、その話が意味する内容を推察する。 ・史話を読解し、時代背景を考え、人物の言動や心情を捉え、人間の生き方を考える。 ・漢詩のきまりを学び、詠まれた状況・心情を想像し、漢詩を味わう。
到達目標	◎　古典作品に対する興味・関心を育み、古典に親しむ。 ◎　古典の特徴・現代文との違いを知り、古典を読む基礎を学び、読解力を身につける。 ◎　筆者と作品や時代背景について理解し、古典世界における人々の思想や感情を読み取り、思考力や想像力を高める。
評価方法	①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に学習に取り組む態度の３つの観点から評価する。定期考査、小テスト、課題・ノートの提出・日常の授業の取り組み姿勢、発表状況・出席状況などを総合的に判断して評価を行う。
使用教材	教科書　○「国語総合　古典編」（東京書籍） 副教材　○「完全傍訳　やさしくくわしい　古典文法　三訂版」（尚文出版） ○「記入してわかる　やさしくくわしい　古典文法ノート　修訂版」（尚文出版） ○「四訂版　力をつける古文　ステップ１」（数研出版） ○「keypoint 古文単語 330　三訂版」（いいずな書店） ○「新明説漢文」（尚文出版）　○「新明説漢文ノート　修訂版」（尚文出版）
その他	受身でなく自力で読むという意識を持って予習を徹底してください。 根拠をもって解答できるように、本文の読み取りを練習すること。

●授業進度表



授業科目	芸術　書道Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	探究(選択)	単位数	２	
授業内容	・　書写と書道の違いを理解する。姿勢・執筆法、用具・用材を理解する。 ・　書の歴史を知る。 ・　中国の歴史的作品の鑑賞・理論を通し、臨書（実技）をする。 　・　楷書の学習 　・　行書の学習 ・　平仮名、片仮名の成り立ちを理解し、平安時代の仮名の基礎を学ぶ。 　・　いろは歌・連綿 ・　漢字仮名交じりの書を通して、伝達から表現を目的とした書作品を学ぶ。 ・　日常生活における実用的な書を学ぶ。				
授業計画	・　楷書の学習（中国古典：九成宮禮泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序・顔氏家廟碑） ・　行書の学習（中国古典：蘭亭序、日本古典：風信帖） ・　仮名の学習（平仮名、片仮名の成り立ち・いろは歌・連綿） ・　生活の中の書（実用書道） ・　硬筆の学習（平仮名、片仮名の正しい書き方） （その他、時間や状況に応じて変更有り）				
到達目標	・　書写と書道の違いを理解する。 ・　書く姿勢、筆の持ち方、用具・用材についての知識を理解する。 ・　漢字の変遷と様々な書体の成立と基本用筆について理解する。 ・　作品を鑑賞し、臨書を通し、字形や運筆の特徴を表現する。 　（背勢と向勢・蔵鋒と露鋒・方勢と円勢の違い等） ・　行書の成立と基本用筆について理解し、楷書との違いを理解し、表現する。 ・　平仮名、片仮名の成り立ちを理解する。 ・　仮名の成立と基本用筆・連綿の流動美を理解し、表現する。 ・　生活で必要な実用書道の基礎・基本的な事項を理解し、文字の原則・原理に基づいて書くことができる。				
評価方法	毎時間の作品提出、習熟度、出席日数、授業態度、持ち物（教科書と道具）、学期末の学科試験を加味してこれらを「知識・技能」40％「主体性」30％「表現力・判断力・思考力」30％の観点別で評価を決定する。				
使用教材	光村図書　書Ⅰ 資料・配布プリント等				

●授業進度表

学年･コース	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	書道		書写から書道へ					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		楷書	九成宮禮泉銘																																				
			孔子廟堂碑																																				
			雁塔聖教序																																				
			顔氏家廟碑																																				
		行書	蘭亭序																																				
			風信帖																																				
		制作	伝達から表現へ																																				
		仮名	いろは歌･連綿																																				
		調和体	生活の中の書																																				
		硬筆	平仮名･片仮名																																				

授業科目	体育				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	探究(女子)	単位数	２	
授業内容	・集団行動 クラスや講座の集団の一員であることを意識して行動させ、体育の授業に取り組む姿勢をつくる。集団の中で秩序ある行動を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・バレーボール、バスケットボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年女子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間試験					1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																	
		体つくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																																
			体力を高める運動	■	■	■	■																																
		球技	基本的技能運動																			■	■	■	■	■	■									■		
			基本的技術運動																			■	■	■	■	■	■									■		
		陸上	基礎、基本的な運動						■	■	■	■	■						■	■	■																		
			合理的な運動						■	■	■	■	■						■	■	■																		
		持久走	体力向上の運動																												■	■	■	■	■				
			精神力や忍耐力メントレ																												■	■	■	■	■				
		体育理論	合理的な運動を学習する									■														■								■					
			練習方法や必要な体力									■														■								■					
			生涯スポーツの意味									■														■								■					

授業科目	数学ⅠⅡ				２０２１年度 数学科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	４	
授業内容	数学Ⅰ 第１章　数と式 数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また，式を多面的にみたり処理したりするとともに，１次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 第２章　集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。 第３章　２次関数 ２次関数とそのグラフについて理解し，２次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第４章　図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第５章　データ分析 統計の基本的な考えを理解するとともに，それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 数学Ⅱ 第１章　式と証明 整式の除法，分数式の計算，等式・不等式の証明について学ぶ。 第２章　複素数と方程式 方程式について理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張し，二次方程式を解くこと及び因数分解を利用した高次方程式を解くことができるようにする。				
到達目標	・各章の学習により，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・学習した内容を用いて日常生活に関わることを分析しようとする資質を育む。 ・解法の論理を過不足なく明確に表現できる。				
評価方法	①　知識・技能：定期考査，課題点検テスト，小テスト等 ②　思考・判断・表現：定期考査，ノート，課題などの提出物，レポート等 ③　主体的に学習に向かう態度（粘り強さ・調整力）：振り返りシート，授業参加，授業態度 ①　～③を総合的に判断する				
使用教材	教科書：「改訂版 新編 数学Ⅰ」「改訂版 新編 数学Ⅱ」（数研出版） 副教材：数学Ⅰ・A 入門問題精講　新装版，数学Ⅰ・A 基礎問題精講　五訂版（旺文社） 「日常の予習・復習と大学受験準備のための高校標準問題集数学Ⅰ＋Ａ」（数研出版） 数学Ⅱ・B 入門問題精講　新装版，数学Ⅰ・A 基礎問題精講　五訂版（旺文社） 「日常の予習・復習と大学受験準備のための高校標準問題集数学Ⅱ＋B［ベクトル・数列］」				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	数学Ⅰ	数と式	式の計算					1学期中間試験								夏休み							2学期中間試験						2学期期末試験	冬休み								学年末試験		
			実数										1学期期末試験																										
			1次不等式																																				
		集合と命題	集合と命題																																				
		2次関数	2次関数とグラフ																																				
			2次関数の値の変化																																				
			2次方程式と2次不等式																																				
		図形と計量	三角比																																				
			三角形への応用																																				
		データの分析	データ分析																																				
			データの相関																																				
	数学Ⅱ	式と証明	式と計算																																				
			等式・不等式の証明																																				
		複素数と方程式	複素数と2次方程式の解																																				
			高次方程式																																				

授業科目	数学Ａ				２０２１年度 数学科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	第１章　場合の数と確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第２章　図形の性質 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。また、性質について論理的に考察や説明ができるようにする。 第３章　整数の性質 整数の性質についての理解を深め，それを事象の考察に活用できるようにする。整数に関する事象を論理的に考察し表現できるようにする。				
到達目標	・各章の学習により，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・学習した内容を用いて日常生活に関わることを分析しようとする資質を育む。 ・解法の論理を過不足なく明確に表現できる。				
評価方法	①　定期考査，課題点検テスト，小テスト ②　ノート，長期休暇中の課題などの提出物 ③　学習活動への取り組み，振り返りシート ①～③を総合的に判断する				
使用教材	教科書：「改訂版 新編 数学Ａ」（数研出版） 副教材：「日常の予習・復習と大学受験準備のための高校標準問題集数学Ｉ＋Ａ」（数研出版） 「チャート式 解法と演習 数学Ｉ+A」（数研出版）				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	数学A	場合の数と確率	場合の数					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			確率																																				
		図形の性質	平面図形																																				
			空間図形																																				
		整数の性質	約数と倍数																																				
			ユークリッドの互除法																																				
			整数の性質の活用																																				

授業科目	世界史Ａ				２０２１年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	帝国主義から現代に至るまでの歴史を扱う中で，現代の国際社会が抱える諸課題の原因を理解し，今後の解決に向けた取り組みについて考察する。 第６章　二つの世界大戦 第７章　第二次世界大戦後の世界と日本 第８章　現代の世界 終章　持続可能な世界を目指して				
到達目標	・２つの大戦に関する出来事について教科書や資料集を使って調べることができる。 ・重要な歴史的事象について，諸国間の対立の歴史的背景を理解し，今後の国際平和のために必要なことを考えることができる。 ・現代の国際社会が抱えている諸課題や諸国間の対立について，これまでの歴史を鑑みて，日本の果たすべき役割を考察できる。 ・地球規模の課題について国際社会がどのように対応したのかを調べ，現代社会でおきている諸課題について，自分の意見をまとめ，発表することができる。 ・さまざまな課題について，その解決に向けて他者と協働して主体的に取り組むことができる。				
評価方法	「知識・技能」（40%），「思考・判断・表現」（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については，提出物，小テスト，プレゼン発表，レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書：『高等学校　改訂版　世界史 A』（実教出版社） 副教材：『世界史 A　演習ノート』（実教出版社） 『詳説世界史図録』（山川出版社）				

●授業進度表

学年・類	科目	単元	項目		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
					上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	世界史A	第Ⅳ部 地球社会と日本	第6章 2つの世界大戦	激変する社会と帝国主義																																				
				第一次世界大戦とロシア																																				
				戦間期のヨーロッパとアメリカ																																				
				民族運動の高まり																																				
				第二次世界大戦																																				
			第7章 第二次世界大戦後の世界と日本	冷たい戦争																																				
				アジア・アフリカ諸国の独立と混乱																																				
				多極化の進展と冷戦体制の崩壊																																				
			第8章 現代の世界	統合へ向かうヨーロッパ																																				
				アメリカ・ラテンアメリカの動向																																				
				西アジア・アフリカの混迷																																				
				南アジア・東南アジア・オセアニアの動き																																				
				大国化する中国と東アジアの変動																																				
			終章 持続可能な世界を目指して	巨大技術と人間																																				
				人が人らしく生きるために																																				
				環境問題と私たち																																				
				チェチェン紛争																																				

1学期中間試験　1学期期末試験　夏休み　2学期中間試験　2学期期末試験　冬休み　学年末試験

授業科目	生物基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	第１部生物の特徴 生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 第２部 遺伝子とその働き 生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。 第３部 生物の体内環境の維持 生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 第４部 生物の多様性と生態系 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。				
到達目標	・生物や生命現象に対する興味関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・大学入学共通テストに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	知識・技能（40）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（30）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（30）…授業内活動、振り返りシート等の提出物 から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書　生物基礎　数研出版 副教材　リードα生物基礎　数研出版 スクエア最新図説生物　第一学習社				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	生物基礎	生物と遺伝子	生物の特徴					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			遺伝子とそのはたらき																																				
		生物の体内環境の維持	生物の体内環境																																				
		生物の多様性と分布	植生の多様性と分布																																				
			生態系とその保全																																				

授業科目	体育（体育実技１単位、柔道１単位）				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	探究(男子)	単位数	２	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・ラグビー、バスケットボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・柔道 柔道の基本技術を身につける。相手の動きに対応した攻防ができる。強い精神力と相手を尊重し思いやる心を身につける。ルールを守り、安全に試合ができるようにする ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いながら技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年男子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間考査					1学期期末試験										2学期中間考査					2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																	
		体カづくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																																
			体力を高める運動	■	■	■	■																																
		球技	基本的技能運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■										■	
			基本的技術運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■										■	
		陸上	基礎、基本的な運動																■	■	■																		
			合理的な運動																■	■	■																		
		柔道	基礎、基本の特性運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■											
			相手との対応した動き							■	■	■	■									■			■	■	■	■											
		持久走	体力向上の運動																												■	■	■	■	■				
			精神力や忍耐カメントレ																												■	■	■	■	■				
		体育理論	合理的な運動を学習する																								■												
			練習方法や必要な体力																								■								■				
			生涯スポーツの意味									■															■								■				

授業科目	地理Ａ				２０２１年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	１部　世界の諸地域の姿と地球的課題 　１章　地球儀や地図からとらえる現代世界 　２章　人間生活を取り巻く環境 　３章　世界の諸地域の生活・文化 　４章　地球的課題と私たち ２部　身近な地域の課題 　１章　身近にあるさまざまな地図 　２章　日本の自然環境と防災 　３章　身近な地域の課題と地域調査				
到達目標	・世界の略地図を書く事ができる。 ・世界の主要な国，都市名，地形の位置関係と名称を地図上で表すことができる。 ・地形・気候・産業に関する系統地理の基礎的用語や考え方を理解し，説明できる。 ・世界の諸地域や諸国の産業や文化の特徴を説明することができる。 ・地図帳を利用し，地名や統計を調べる事ができる。 ・インターネット等で，地理に関する各種資料や統計を収集し，調査･分析できる。 ・文献や統計を分析して，地理事象の背景を見出すことができる。 ・地形図の読み取りやフィールドワークによる地域調査を行うことができる。 ・統計などの情報を，地図上に表現することができる。 ・地球規模の課題の背景を理解し，解決にむけた自分の意見を発表することができる。				
評価方法	「知識・技能」（40%），「思考・判断・表現」（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については，提出物，小テスト，プレゼン発表，レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書：新地理Ａ（帝国書院）／『新詳高等地図』（帝国書院） 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE2021』（帝国書院）				

●授業進度表

学年･ｺｰｽ	科目	単位	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
					上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	地理A	2	地球儀や地図からとらえる現代世界	地球上の位置と国家					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験											学年末試験		
				グローバル化が進む世界																																				
			人間生活を取り巻く環境	人々の生活と地形																																				
				人々の生活と気候																																				
				人々の生活と産業･文化																																				
			世界の諸地域の生活･文化	アジア･アフリカの生活･文化																																				
				ヨーロッパ･ロシアの生活･文化																																				
				アングロアメリカの生活･文化																																				
				ラテンアメリカの生活･文化																																				
				オーストラリアの生活･文化																																				
			身近な地域の課題	身近にあるさまざまな地図																																				
				日本の自然環境と防災																																				
				身近な地域の課題と地域調査																																				

授業科目	芸術　美術Ⅰ				２０２１年度 芸術科シラバス
学年・コース	１学年	探究(選択)	単位数	２	
授業内容	・芸術鑑賞・美術基礎知識（色彩など） ・1年間を通してデッサン(絵画・立体表現分野) ・１学期　ポスター(デザイン分野）の制作 ・２学期　モダンアート画の制作 ・２学期　立体構成デザイン画の制作(デザイン・工芸分野) ・３学期　水彩画　花と風景の制作 ・３学期　色鉛筆画の制作 ・３学期　平面構成（デザイン分野）　　（その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・思いを込めた丁寧な制作態度を身に着け、作品への愛着を感じることができる。 ・美術の学習を通じて、表現する喜びや楽しさを経験する。 ・デッサンでは色々な描画材料を使い、物の正確な形、本質を追及する態度を身につける。 ・作品の制作を通じて、丁寧に制作された作品の価値を知る。 ・デザインの課題を通して、社会の中でデザインの在り方について考えを深める。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・立体的なデザイン表現を知ると共に、構成力・造形力を養う。 ・創作活動を通して表現力を身につける。 ・社会の中にある色彩や表現を発見し、発展させる力を身につける。				
評価方法	［単位修得要件］ 課題に要求される習熟度、作品の完成度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し、これらを「知識・技能」40%「主体性」30%「表現力・判断力・思考力」30%の観点別で評価する。				
使用教材	光村図書　高校美術１　資料・配布プリント　他				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］ 小・中学校で学んだ美術の基本的知識、技能。				

●授業進度表

学年・類	科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	美術	美術知識	基礎知識		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			色相色彩学			■																																	
			美術史1・2				■																																
			絵画・デザイン分野				■																																
		デザイン	ポスターの知識						■																														
			ポスターデザイン						■																														
			ポスター下描き								■																												
			ポスター着色								■	■		■																									
		絵画とデザイン	色鉛筆画の練習																■																				
			モダンアート画構成																	■																			
			モダンアート画下描き																		■	■																	
			モダンアート画着色																			■			■	■	■		■										
		水彩画と平面構成	水彩画(花を描く)																													■	■						
			水彩画(風景を描く)																															■					
			平面構成																																■	■		■	

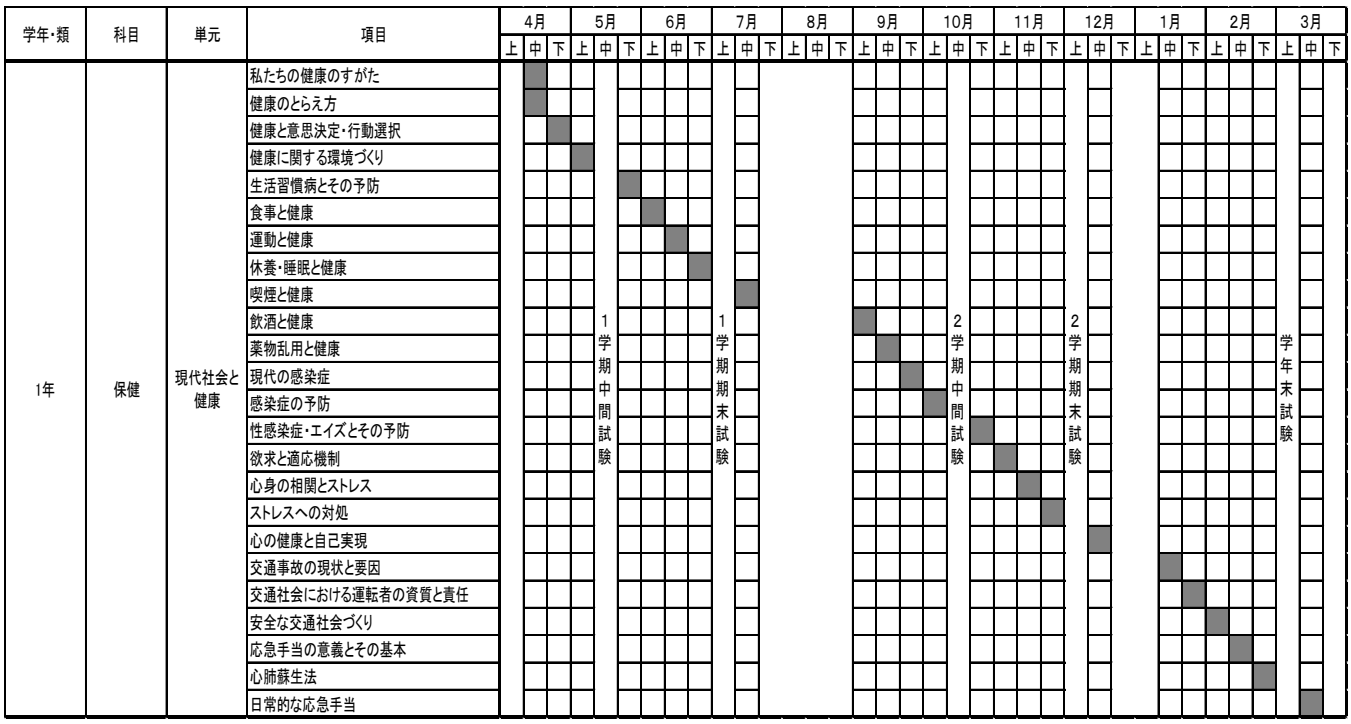
授業科目	物理基礎				２０２１年度 理科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	運動とエネルギー・熱・波・電気といった物理基礎の４分野の中から、運動とエネルギーおよび熱の分野を履修する。特に、運動とエネルギーについては他の分野の基礎となるので、時間をかけて重点的に授業を進める。 1　運動とエネルギー ・物体の運動を表す量としての変位、速度、加速度の理解を、ベクトルの理解と合わせて深める。 ・静力学の根幹である作用反作用の力とつり合いの力の違いを明確にし、動力学の理解につなげる。 ・運動方程式を理解することで力に関係する事象を解析する力を養う。 ・仕事とエネルギーの関係を通して、エネルギーが広い意味で保存量であることに気づかせ、次の熱分野につなげる。 ２　熱 ・温度と熱の関係から入って、熱力学の第一法則を通して熱と仕事の関係を理解し、エネルギー収支の視点で自然界を分析できるようにする。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・自然界で生起する様々な力学現象の中から単純化させたものを取り上げ、運動の記述方法について学び、解析力をつけること。 ・力学的エネルギーや熱エネルギーを通してマクロおよびミクロ的な視点から自然現象について考察できる力をつけること。 ・力学や熱学を通して物理学が社会の発展に果たしてきた役割に気づくこと。 ・習った分野では大学入試共通テストレベルの問題を解く力を身につけること。				
評価方法	知識・技能（40）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（30）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（30）…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書：物理基礎（数研出版） 副教材：フォローアップドリル物理基礎（数研出版） □運動の表し方・力・運動方程式　　□仕事とエネルギー・熱				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究 コース	物理基礎	運動とエネルギー	運動の表し方					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			運動の法則																																				
			仕事と力学的エネルギー																																				
		熱	熱とエネルギー																																				

授業科目	保健				２０２１年度 体育科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	１	
授業内容	１学期　　現代社会と健康（私たちの健康のすがた～喫煙と健康） ２学期　　現代社会と健康（飲酒と健康～心の健康と自己実現） ３学期　　現代社会と健康（交通事故の現状と要因～日常的な応急手当） クラス単位の講義形式。 動画視聴や実技、グループ学習、調べ学習なども行う。 「生活習慣」『ストレス』など現代社会を特徴づけるこれらの言葉が示唆するように、私たちの周囲には健康を脅かす数多くの危険因子がある。それらについての知識を深め心身ともに健康的な生活を送るためにどうすればよいかを学ぶ。				
到達目標	現代から将来にわたっての、健康的な生活とは何かを考え、心身の健康の価値を日常生活の中で確認し、自ら進んで行動できるようにする。				
評価方法	知識・技能　　思考・判断・表現　　主体的に取り組む態度				
使用教材	教科書「保健体育」（大修館） ノート「現代保健ノート」（大修館）				
その他	必履修科目				

●授業進度表



授業科目	論理コミュニケーション				２０２１年度 国語科シラバス
学年・コース	１学年	探究	単位数	１	
授業内容	１　自分の意見に根拠をつけて、文章を書く練習をする。 　設計図の手順とルールを理解し、それをもとに記述する。 ２　より具体的で的確な根拠や事例を書くための細かい演習を行う。 事例に事実を書くことを意識することで、より説得力のある文章を書く練習をする。最初に意見ありきではなく、根拠や事例を考えて判断していく練習をする。 ３　グループで読み合ったり、クラスで発表したりして、人の文章を評価し、人と意見を共有しながら、お互いの考えを深めていく活動を適宜入れる。 ４　漢字や語彙、言葉の決まりを正しく理解し、正しく使う練習をする。				
到達目標	・　日本語運用能力を向上させる ・　自分の意見を論理的に書くことができる記述力を身につける。 ・　他者の意見を理解し、それに対して自分の意見を構築し、表現できる力を身につける。				
評価方法	①　知識・技能、②　思考力・判断力・表現力、③　主体的に学習に取り組む態度の３つの観点から評価する。 具体的には、定期考査を中心に、小テスト・課題の提出状況・日常の授業への取り組みやグループ活動への参加態度・振り返りシートの内容などをもって、総合的に評価する。				
使用教材	・「論理コミュニケーション第 3 版」（慶應義塾大学出版会）に基づく記述演習プリント ・言葉の決まりのテキスト ・練習プリント				
その他	・　論理的にコミュニケーションする力は、社会で求められている能力であり、大学に入学した後も能力を伸ばし続けるために必要な基礎力です。 ・　自分を表現すること、他者を理解することの楽しさを味わいながら力をつけていきましょう。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	論理コミュニケーション	設計図のルール	論理的な文章の書き方		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			設計図のルール			■	■																																
			STEPごとの練習						■	■																													
			設計図を用いて記述練習								■	■																											
		文章を深める	根拠を深める																		■	■																	
			事例を深める																					■	■														
			記述演習																							■	■				■	■	■						
			発表・議論会																■	■														■	■				
		言葉の決まり	語彙・言葉の決まり						■	■	■	■		■					■	■	■	■		■	■	■	■		■		■	■	■	■	■			■	